

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-126361

(P2002-126361A)

(43) 公開日 平成14年5月8日 (2002.5.8)

(51) Int.Cl.

A 6 3 H 3/00

3/33

識別記号

F I

A 6 3 H 3/00

3/33

テーム (参考)

G 2 C 1 5 0

L

A

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-363836 (P2000-363836)

(22) 出願日 平成12年10月24日 (2000. 10. 24)

(71) 出願人 500548600

長島 美喜江

東京都豊島区西巣鴨 2-5-21

(71) 出願人 500548633

田中 淳子

東京都豊島区巣鴨 4-12-7

(72) 発明者 長島 美喜江

東京都豊島区西巣鴨 2-5-21

(72) 発明者 田中 淳子

東京都豊島区巣鴨 4-12-7

Fターム (参考) 2C150 BC03 CA01 CA02 CA04 DD03

DD06 DD18 DD24 DF03 DF33

ED02

(54) 【発明の名称】 ガイド人形

(57) 【要約】

【課題】 高齢者が外出先で事故に遭ったり、病気で倒れたときの補助となるような機能性を持たせた人形はない。

【解決手段】 ガイド人形の片手に鈴を所持させ、反対の手に緊急連絡先と入院時に必要な事項を記入する欄を設けた巻紙の入った御守を所持させ、鎖を着けてハンドバック、袋、カバン等に吊り下げて携帯する。また、音源を設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】赤ふんどしをしたおじいさんのガイド人形及び赤パンツをはいたおばあさんのガイド人形の片手に鈴を所持させ、反対の手に緊急連絡先と入院時に必要な事項を記入する欄を設けた巻紙の入った御守を所持させ、鎖を着けてハンドバック、袋、カバン等に吊り下げて携帯することを特徴とするガイド人形。

【請求項2】緊急時に音声や音により周囲の人の注意を喚起する音源を設けたことを特徴とする請求項1に記載のガイド人形。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、年配者が携帯することを目的とした緊急連絡先の案内を有するガイド人形である。

【0002】

【従来の技術】従来の吊り下げて持ち歩く人形は低年齢層の人や若い人を対象に考えていて、高齢層の人を対象に考えたものがなく、高齢者が外出先で事故に遭ったり、病気で倒れたときの補助となるような機能性を持たせた人形はない。

【0003】

【発明の解決しようとする課題】低年齢層の人や若い人がハンドバック、袋、カバン等に人形を吊り下げて歩くのが流行しているが、高齢層には流行していない。これは、適当な人形が提供されていないためであり、人形に機能性もないためである。しかし、高齢社会を迎え、高齢者が外出する機会が多くなっている。外出すると、環境の変化や疲労により、高齢者は外出先で倒れることがある。もし、人形をハンドバック、袋、カバン等に吊り下げていて、この、人形が倒れた人に関する情報を所持していれば、介護の人でも迅速に対処できる。ガイド人形はハンドバック、袋、カバン等の所持品の外に吊り下げておくので、所持品の中身を調べる必要がなく、他の人から所持品の中身を調べる行為に対し、疑惑の目で見られるという恐れもなくなる。このように、ガイド人形が情報の伝達手段であるということを世間で認識する状態になれば、誰でも安心して倒れた人の情報を得ることができる。

【0004】

【課題を解決するための手段】このようなガイド人形を提供するために、この発明においては、おじいさんの形状をしたガイド人形に赤ふんどしを締めさせ、片手に鈴を所持させ、反対の手に御守を持たせ、御守の中に緊急連絡先を記入した巻紙を挿入している。緊急連絡先に記載する内容は、住所、氏名、電話番号、かかり付けの病院、病歴、血液型等が考えられる。ガイド人形の頭に鎖を付け、鎖の先端に輪を通してハンドバック、袋、カバン等に吊り下げられるようにしている。

【0005】おばあさんの形状をしたガイド人形は赤パ

ンツをはいている。おじいさんの形状のガイド人形と同じように、片手に鈴を所持し、反対の手に緊急連絡先の巻紙の入った御守を所持し、頭に鎖が付いている。

【0006】これらのガイド人形に音声や音を発生させる装置を設けることで、ガイド人形を所持する人の緊急事態を周囲の人に気付かせる機能を付加することができる。

【0007】

【発明の実施の形態】ガイド人形に赤ふんどしや赤パンツをはかせるのは目立たせ、ユーモア性を持たせるためのもので、赤ふんどしや赤パンツに代わるものをはかせることもできる。また、赤ふんどしや赤パンツの中におみくじを入れてガイド人形の購入者に渡すこともできる。

【0008】ガイド人形が所持する鈴に代わり、玉や五円硬貨等、他の物を所持させることもできる。

【0009】御守に入れる巻紙は紙片にすることもできる。また、御守の形状も変えることができる。

【0010】

【実施例】実施例について図面を参照して説明する。図1はおじいさんの形状のガイド人形の正面図である。ガイド人形1に赤ふんどし2をはかせ、左手に鈴3を持たせ、右手に酒瓶形状の御守4を持たせている。ガイド人形の頭に鎖7が付いていて、鎖7の先端には輪8が付いている。ハンドバック、袋、カバン等に輪8を装着することでガイド人形1を吊り下げることができる。

【0011】図2はおじいさんの形状のガイド人形の側面図である。ガイド人形1の所持する御守4の酒瓶の蓋5を開けると巻紙6を取り出せる。巻紙6には緊急連絡先を記載できる。ガイド人形1の中に音源を設置することもできる。

【0012】図3はおばあさんの形状のガイド人形の正面図である。ガイド人形1は赤パンツ9をはいている。左手に鈴3を持ち、右手に御守4を持っている。この御守4は酒瓶の形状でなく、筒や札の形状である。

【0013】図4は巻紙の説明図である。巻紙5には緊急連絡先が記載されていて、ガイド人形1の所持人が倒れても、この緊急連絡先で連絡が取れ、適当な処置もできる。巻紙5に記載される内容としては、氏名、年齢、血液型、生年月日、電話番号、住所または居所、家族の連絡先の電話番号や住所、本人の病歴・病名、服用薬、かかり付けの病院、その他の必要事項等が考えられる。書式は縦書きでも横書きでもよい。

【0014】

【発明の効果】ハンドバック、袋、カバン、ベルト等に吊り下げた御守を兼ねたガイド人形が、所持人に関する情報伝達機能を有しているので、緊急の際に、迅速な処置ができる。家族にも連絡が取れ、外出の際の安心さが増す。また、ファッション性があり、保身効果もある。

【図面の簡単な説明】

【図1】正面図

【図2】側面図

【図3】正面図

【図4】説明図

【符号の説明】

1 ガイド人形

2 赤ふんどし

3 鈴

4 御守

5 酒瓶の蓋

6 巻紙

7 鎖

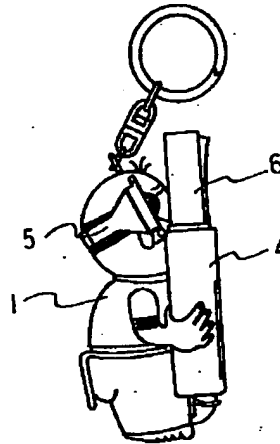
8 輪

9 赤パンツ

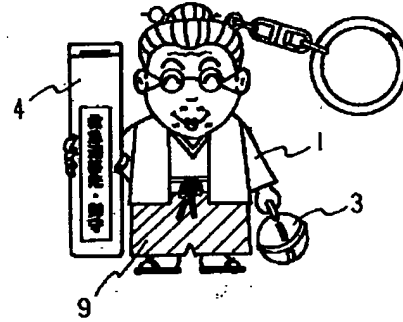
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

氏名					
生年月日					
住所・居所					
家族の連絡先TEL					
家族の連絡先住所					
病歴・病名					
服用薬					
かかりつけの病院					
その他					
	年齢	性別			
	TEL	住所			